

8月6日(木)全国いっせいで「平和の波」行動に参加しよう!

8時~30分間、役所や駅前、交差点などで横断幕掲げてピーススタンディングと黙とうを

被爆75年 8月6日、9日を忘れない

「核兵器禁止条約」日本は参加を

核兵器禁止条約を批准した40の国 2020年7月



「ヒバクシャ国際署名」にサインする
被爆者の証言を聞く
8月6日9日に黙とうする
スタンディングで知らせる
反核メッセージをツイートする
原爆展に参加する

被爆75年原水爆禁止2020年世界大会実行委員会は8月6日から9日まで地球の自転に合わせて核兵器廃絶の行動を呼びかけました。広島に原爆が投下された8月6日8:15の黙とうでスタートし、長崎に原爆が投下された8月9日11:02の黙とうがゴールです。

「平和の波」は6日8:15、9日11:02に「平和の鐘」を鳴らすことを寺や教会にお願いするなど共同の取り組みも始まっています。県庁前や商店街での署名や原爆展や戦争展など多彩な計画が報告されています。被爆地長崎でも爆心地公園の入り口交差点、馬町の交差点、新戸町の高速道路入り口の交差点付近や市役所前でのスタンディングが計画されています。



核兵器禁止条約の批准国が40か国になり、発効の50か国まで10か国となり、核兵器廃絶の流れを加速させる世界大会となります。また、新型コロナウイルスのパンデミックは連帯と共同を求める国際的な流れを求めており、コロナ後の新たな世界への希望を語り合う場となります。誰でもが平和への意思を表現できる「平和の波」をできるやり方で多彩に展開しましょう。世界大会を大きく盛り上げましょう。

「未来パンフ」届いていますか。先日は大村や諫早の学童クラブから注文がありました。各地でパンフの内容で普及が広がっています。まずは時間とって「学習」しましょう。

7月22日現在
水曜日にカウントアップ
483,929筆
目標へ16,077筆



7月26日「ヒバクシャ国際署名」県民の会の定例の行動。被爆者を先頭に奮闘中。新型コロナウイルス感染拡大が心配される中でしたので、マスクや消毒スプレーを用意し行動。連休最後の日でしたが25名の参加で258筆が寄せられました。9月が署名ゴール「ヒバクシャ国際署名」長崎県民の会としての50万筆へ奮闘中です。各地、団体が集約された署名は毎週火曜日には署名数の連絡ください。

原水爆禁止長崎県協議会ニュース
2020年7月27日
〒850-0035 長崎市元船町5-11-402
TEL 095-895-9106 FAX 095-895-9102

軍事・核兵器より
地球環境、雇用・営業の支援を

2019年の核兵器関連支出総額 **729億ドル** (7兆9461億円) (7兆9461億円) 1992年に13万3699万ドル (約1440万円)!

核兵器にかかると重大な被害の事例

1959年	占領下の韓国で、人的ミスにより核ミサイル「ナイキハーキュリーズ」が撃射され、原爆爆発の沖合に落下。もし爆発していたら釜山府は全滅していた。
1961年	アメリカのノースカロライナ州上空でB-52D戦略爆撃機が空中分解。爆発した核燃料は、2.5メガトンTNTに相当する放射性落下物として落下。もし爆発していたら、数百のフロントは爆発したものと推定。
1962年	キューバ危機。ソ連によるキューバへの核ミサイル配備を巡り、米ソの全面戦争の一手手前まで至る。最終回避で沖縄から3週間に向けて核ミサイルの発射命令が中止されたが事前で回避された。当時沖縄には多数の核兵器が配備されていた。
1965年	日本九州沖の公海上(南緯線約150km)を航行中の米空母フォレスト・ローからB43原子爆弾が脱落した。4年経過後「エベーター」から海中へ転落。水素爆発は爆発とともに水深約5000メートルの深部へ達した。
1966年	スペイン上空でB52戦略爆撃機がKC135A給油機と空中衝突し、海中に墜落。搭載されていたB28核水素爆弾4個のうち回収できたのは1基のみ。2基は地上で発火して大規模な放射能汚染を引き起こし、1基は行方不明のまま。
1968年	デンマーク自治領グリーンランドのチューリ空軍基地上空でアメリカ空軍のB-52戦略爆撃機の機内で火災が発生し、基地西方の海上に墜落した大破片上。機体残骸は至らなかつたものの回収されていた。B28核水素爆弾の放射性物質が飛散、炎で燃やした水と混じり合って大規模な汚染を引き起こした。

1990年代からの歴史。米ソ冷戦の終結、核兵器の削減、核兵器の廃絶の動きが加速している。核兵器の廃絶は、地球環境、雇用、営業の支援につながる。